



Cisco Nexus 1010 ソフトウェア インストール レーション アップグレード ガイド リリース 4.2(1) SP1(3)

OL-24455-A1-J

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、Cisco Nexus 1010 ソフトウェアを再インストールまたはアップグレードする方法について説明します。内容は次のとおりです。

- 「対象読者」 (P.2)
- 「ソフトウェアのインストールおよびアップグレードについて」 (P.2)
- 「前提条件」 (P.3)
- 「注意事項と制限事項」 (P.3)
- 「Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認」 (P.3)
- 「ソフトウェアの再インストール」 (P.5)
- 「ソフトウェアのアップグレード」 (P.6)
- 「構成例」 (P.12)

- 「詳細な資料」 (P.16)
- 「ソフトウェア インストールおよびアップグレード機能の履歴」 (P.16)
- 「関連資料」 (P.16)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.18)



(注)

VSX 上の Cisco Nexus 1000V ソフトウェアのアップグレードについては、『*Cisco Nexus 1000V Software Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)*』を参照してください。

Cisco Nexus 1010 システムの概要と、インストール後のソフトウェアの設定手順については、『*Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(3)*』を参照してください。

対象読者

このマニュアルの対象読者は、Cisco Nexus 1000V の知識と Cisco Nexus 1000V Virtual Supervisor Module (VSM) のインストール、アップグレード、および管理の経験があるネットワーク管理者です。

ソフトウェアのインストールおよびアップグレードについて

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ソフトウェアの再インストールについて」 (P.2)
- 「In Service Software Upgrade について」 (P.2)

ソフトウェアの再インストールについて

Cisco Nexus 1010 ソフトウェアは、次のコンポーネントを含む ISO イメージとして事前にインストールされます。

- Cisco Nexus 1010 キックスタート イメージ
これは、シェルフおよび冗長グループ コンフィギュレーションを管理する Cisco Nexus 1010 Manager 仮想マシン用のイメージです。
- ハイパーバイザと Cisco Nexus 1010 エージェント

Cisco Nexus 1010 でディスク破損が発生した場合は、CD からイメージをコピーすることによりシステムを修復できます。

In Service Software Upgrade について

Cisco Nexus 1010 のアップグレードは、中断のない In Service Software Upgrade (ISSU) です。ソフトウェアをアップグレードする場合、稼動データは永続情報を失わずに保持されます。

スタンバイ Cisco Nexus 1010 が最初にアップグレードされ、アクティブによってリロードされます。アップグレード中には、ISO イメージの抽出、検査、同期、およびアップグレードの要約時にメッセージが表示されます。新しいソフトウェア バージョンのスタンバイが起動した後、スタンバイが引き継

ぎ、新しいバージョンのアクティブをリロードする前に、システムはすべての VSB が起動するのを待ちます。最終的に、両方の Cisco Nexus 1010 が新しいソフトウェア バージョンで HA ペアを構成したときに ISSU は完了します。

前提条件

Cisco Nexus 1010 Release 4.2(1)SP1(3) のインストールまたはアップグレードを行う前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- CIMC ソフトウェア Version 1.2.1(b) 以降がインストール済みである必要があります。このバージョンの CIMC がインストール済みであることを確認する手順は、「[Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認](#)」(P.3) の手順を参照してください。

これよりも前のバージョンの CIMC がインストールされている場合は、アップグレードまたはインストールに失敗します。

注意事項と制限事項

ソフトウェアを再インストールまたはアップグレードする場合は、次のガイドラインと制約事項に従ってください。



注意

ソフトウェアを再インストールする場合、以前のすべての設定は上書きされ、失われます。

- ソフトウェアをアップグレードする唯一の方法は、**install nexus1010** コマンドを使用することです。
- ブート変数は、**install** コマンドの実行時にシステムによって設定されます。ブート変数を手動で設定することは絶対に避けてください。

Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認

次の手順に従って、CIMC ソフトウェア Version 1.2.1(b) 以降が Cisco Nexus 1010 にインストール済みであることを確認します。

はじめる前に

手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- CIMC ソフトウェア Version 1.2.1(b) 以降にアップグレード済みであること。
詳細については、『[CIMC Firmware Management on UCS C-Series Servers](#)』を参照してください。
- CIMC ソフトウェア Version 1.2.1(b) 以降がインストールされている場合は、製品 ID N1K-C1010 が **show hardware** コマンドの出力に表示されます。ここで説明する手順には、この確認作業が含まれています。
- CLI または Web ブラウザから Cisco Nexus 1010 にログイン済みであること。

ステップ 1 Cisco Nexus 1010 から、次のいずれかを実行して製品 ID (PID) を表示します。

- CLI で、**show hardware** コマンドを実行して出力を表示します。
「Switch Hardware ID information」の下にある PID を探します。

- Web ブラウザで、[Server Summary] ウィンドウを開いてサーバ プロパティを表示します。例については、[図 1-1](#) を参照してください。

例：

```
DOCS-CPPA# show hardware
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third
parties and used and distributed under license. Certain components of this software are
licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

```
Software
  loader:      version unavailable [last: image booted through mgmt0]
  kickstart:  version 4.0(4)SP1(1)
  system:     version 4.0(4)SP1(1) [gdb]
  kickstart image file is:
  kickstart compile time: 4/19/2010 1:00:00
  system image file is:  bootflash:/nexus-1010-mzg.4.0.4.SP1.1.bin
  system compile time: 4/19/2010 1:00:00 [04/19/2010 13:07:00]
```

```
Hardware
Cisco Nexus 1010 Chassis ("Cisco Nexus1010 Chassis")
  with 14666752 kB of memory.
Device name: DOCS-CPPA
bootflash: 3897832 kB
Disk Storage capacity for VM virtual disks: 346428 GB
Number of physical 1Gbps ethernet ports: 6
Number of CPU Cores: 8
CPU Cores details:
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           E5504 @ 2.00GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           E5504 @ 2.00GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           E5504 @ 2.00GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           E5504 @ 2.00GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           E5504 @ 2.00GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           E5504 @ 2.00GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           E5504 @ 2.00GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           E5504 @ 2.00GHz
model name      : Intel(R) Xeon(R) CPU           E5504 @ 2.00GHz
```

```
Kernel uptime is 116 day(s), 19 hour(s), 43 minute(s), 7 second(s)
```

```
plugin
  Core Plugin, Ethernet Plugin
-----
Switch hardware ID information
-----

Switch is booted up
Switch type is : Nexus 1010 Chassis
Model number is Nexus 1010
Manufacture date is 03/29/2010
PID-VID-SN: N1K-C1010-A-1383802872129225113
UUID is D5A54100-D9A2-11DE-B0C7-6BF373D92E
```

```
-----
Chassis has 2 Module slots
-----
```

```
Module1 ok
Module type is : Cisco Nexus1010 Chassis
```

```

0 submodules are present
Model number is Nexus 1010
H/W version is .
Manufacture Date is Year 0 Week 3
Serial number is T023D7AF101

Module2 ok
Module type is : Cisco Nexus1010 Chassis
0 submodules are present
Model number is Nexus 1010
H/W version is .
Manufacture Date is Year 0 Week 3
Serial number is T023D7AF181

```

図 1-1 CIMC のウィンドウに表示される製品 ID (PID)



ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- 表示された PID が N1K-C1010 の場合は、Cisco Nexus 1010 Release 4.2(1)SP1(3) のインストールまたはアップグレードに進みます。
- 表示された PID が N1K-C1010 でない場合は、Release 4.2(1)SP1(3) のインストールまたはアップグレードに進まないでください。代わりに、RMA プロセスを使用して Cisco Nexus 1010 を置き換える必要があります。

ソフトウェアの再インストール

システム ディスクが破損した場合にソフトウェア CD からソフトウェアを再インストールする手順を次に示します。

はじめる前に

手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- Cisco Nexus 1010 の製品 ID (PID) が次のとおりであることを、「[Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認](#)」(P.3) の手順に従って確認済みであること。
 - N1K-C1010



注意

Release 4.2(1)SP1(3) のインストールまたはアップグレードができるのは、Cisco Nexus 1010 の製品 ID (PID) が N1K-C1010 である場合に限られます。



注意

データ消失の可能性
ソフトウェアを再インストールする場合、以前のすべての設定は上書きされ、失われます。

手順の詳細

- ステップ 1** ターミナル サーバから Cisco Nexus 1010 のシリアル ポートに接続します。
- ステップ 2** インストール CD を DVD-RW ドライブに挿入します。
- ステップ 3** Cisco Nexus 1010 で電源ボタンを押します。
Cisco Nexus 1010 がリブートし、管理ソフトウェア設定プロセスが開始します。
ソフトウェアを設定する場合は、『*Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(3)*』を参照してください。

ソフトウェアのアップグレード

この項の手順を使用して、Cisco Nexus 1010 ソフトウェアを新しいバージョンにアップグレードできます。

- 「[ソフトウェア リリース 4.2\(1\)SP1\(2\) からのアップグレード](#)」(P.7)
- 「[ソフトウェア リリース 4.0\(4\)SP1\(1\) からのアップグレード](#)」(P.9)

前提条件

ここに示す手順を開始する前に、次の点を理解または実行しておく必要があります。

- Cisco Nexus 1010 の製品 ID (PID) が次のとおりであることを、「[Cisco CIMC ソフトウェアのバージョンの確認](#)」(P.3) の手順に従って確認済みであること。
 - N1K-C1010



注意

Release 4.2(1)SP1(3) のインストールまたはアップグレードができるのは、Cisco Nexus 1010 の製品 ID (PID) が N1K-C1010 である場合に限られます。

- Cisco Nexus 1010 の背面の CIMC/Serial over LAN ポートから CLI にログインしていること。



(注) この手順では管理 IP を使用してログインしないでください。この手順では、最初にスタンバイ Cisco Nexus 1010 をアップグレードしてリロードする必要があります。その後、HA ペアはソフトウェア バージョンの互換性がなくなります。Serial over LAN を使用してログインすることにより、この構成で発生するスプリットブレインが回避されます。

- この手順で、アクティブおよびスタンバイ Cisco Nexus 1010 の両方がアップグレードされます。
- 外部サーバの実行コンフィギュレーションのバックアップ コピーをすでに保存していること。
- アップグレード中に新しいソフトウェア バージョンをリロードした後、新しいアップグレード コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーすることによって、リブートや再起動が行われてもコンフィギュレーションが永続的に保存されるようにする必要があります。次の手順には、このための作業が含まれています。
- 新しい Cisco Nexus 1010 ソフトウェア ファイルのコピーを次の Cisco.com ソフトウェア ダウンロード サイトから外部サーバに保存済みであること。

www.cisco.com/go/1010download

ソフトウェア リリース 4.2(1)SP1(2) からのアップグレード

稼動データと永続情報を保持しながら次の Cisco Nexus 1010 をアップグレードする手順を次に示します。

アップグレード前のソフトウェア バージョン	アップグレード後のソフトウェア バージョン
4.2(1)SP1(2)	4.2(1)SP1(3)



(注) 4.0(4) SP1(1) からアップグレードする場合は、「ソフトウェア リリース 4.0(4)SP1(1) からのアップグレード」(P.9) の手順を参照してください。



(注) VSB 上の Cisco Nexus 1000V ソフトウェアのアップグレードについては、『Cisco Nexus 1000V Software Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』を参照してください。

手順の詳細

ステップ 1

Cisco Nexus 1010 Serial over LAN 接続で、未保存のコンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションからスタートアップにコピーして、リロード後にコンフィギュレーションが保持されるようにします。

copy running-config startup-config

例：

```
switch# copy running-config startup-config
[#####] 100%
```

switch#

ステップ 2 新しいソフトウェア イメージを外部サーバから次のディレクトリにコピーします。

bootflash: ¥repository

copy scp://user@path/filename bootflash:filename

例 :

```
n1010# copy scp://user@linux-box.cisco.com/home/user/nexus-1010.4.2.1.SP1.1.3.iso
bootflash:repository
Enter vrf (If no input, current vrf 'default' is considered):
user@linux-box.cisco.com's password:
nexus-1010.4.2.1.sp1.3.iso      100% 258234 10.3KB/s  00:15
n1010#
```

ステップ 3 新しいイメージをインストールします。

install nexus1010 full_path_to_filename

例 :

```
switch# install nexus1010 bootflash:repository/nexus-1010.4.2.1.sp1.3.iso
```

スイッチでは次のことが起こります。

- 新しいソフトウェア イメージが bootflash にコピーされ、スタンバイ Cisco Nexus 1010 がアップグレードされます。
- bootflash 変数が新しいシステムとキックスタート イメージの名前で更新されます。
- 新しいイメージと bootflash 変数の情報がスタートアップ コンフィギュレーションに保存されます。
- アクティブが新しいソフトウェア バージョンのスタンバイをリロードします。
- スタンバイが引き継ぎ、新しいバージョンのアクティブをリロードする前に、システムはすべての VSB が起動するのを待ちます。

ステップ 4 各モジュールの CLI から、両方のモジュールが HA モードであることを確認します。

show system redundancy status

例 :

```
switch# show system redundancy status
Redundancy role
-----
      administrative:  primary
      operational:    primary
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None
This supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state: Active
      Internal state:   Active with HA standby
Other supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state: standby
      Supervisor state: HA standby
      Internal state:   HA standby
switch#
-----
```

ステップ 5 新しいソフトウェアがロードされたことを確認します。

show module

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model                Status
---  ---  -
1    0      Cisco Nexus1010 Chassis  Nexus1010           active *
2    0      Cisco Nexus1010 Chassis  Nexus1010           ha-standby

Mod  Sw                Hw
---  ---  ---
1    4.2(1)SP1(3)     0.0
2    4.2(1)SP1(3)     0.0

Mod  MAC-Address(es)                Serial-Num
---  ---  ---
1    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA
2    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA

Mod  Server-IP          Server-UUID                Server-Name
---  ---  ---  ---
1    172.23.231.113    NA                          NA
2    172.23.231.113    NA                          NA
```

* this terminal session
switch#

- ステップ 6** 新しいアップグレード コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーすることによって、リブートや再起動が行われても実行コンフィギュレーションが永続的に保存されるようにします。

copy running-config startup-config

例：

```
switch# copy running-config startup-config
[#####] 100%
switch#
```

ソフトウェア リリース 4.0(4)SP1(1) からのアップグレード

稼動データと永続情報を保持しながら次の Cisco Nexus 1010 をアップグレードする手順を次に示します。

アップグレード前のソフトウェア バージョン	アップグレード後のソフトウェア バージョン
4.0(4)SP1(1)	4.2(1)SP1(3)



- (注) 4.2(1) SP1(2) からアップグレードする場合は、「[ソフトウェア リリース 4.2\(1\)SP1\(2\) からのアップグレード](#)」(P.7) の手順を参照してください。



- (注) VSB 上の Cisco Nexus 1000V ソフトウェアのアップグレードについては、『*Cisco Nexus 1000V Software Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)*』を参照してください。

はじめる前に

手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- VSM が使用可能である状態を維持するには、ここで説明する手順に従って冗長 VSB モジュールを別々にリロードします。

手順の詳細

- ステップ 1** Cisco Nexus 1010 Serial over LAN 接続で、未保存のコンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションからスタートアップにコピーして、リロード後にコンフィギュレーションが保持されるようにします。

copy running-config startup-config

例：

```
switch# copy running-config startup-config
[#####] 100%
switch#
```

- ステップ 2** 新しいソフトウェア イメージを外部サーバから次のディレクトリにコピーします。

bootflash: ¥repository

copy scp://user@path/filename bootflash:filename

例：

```
n1010# copy scp://user@linux-box.cisco.com/home/user/nexus-1010.4.2.1.SP1.1.3.iso
bootflash:repository
Enter vrf (If no input, current vrf 'default' is considered):
user@linux-box.cisco.com's password:
nexus-1010.4.2.1.SP1.1.3.iso      100% 258234 10.3KB/s 00:15
n1010#
```

- ステップ 3** 新しいイメージをインストールします。

install nexus1010 full_path_to_filename

スイッチでは次のことが起こります。

- 新しいソフトウェア イメージが bootflash にコピーされます。
- bootflash 変数が新しいシステムとキックスタート イメージの名前で更新されます。
- 新しいイメージと bootflash 変数の情報が実行コンフィギュレーションに保存されます。

例：

```
switch# install nexus1010 bootflash:repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.1.3.iso
```

- ステップ 4** スタートアップ コンフィギュレーションに新しいブート パラメータを保存します。

```
switch# copy running-config startup-config
[#####] 100%
```



注意

実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーしない場合、新しいブート パラメータは**ステップ 5**でソフトウェアをリロードしたときに保存されません。

- ステップ 5** ソフトウェアをリロードしてソフトウェア イメージを新しいイメージ ファイルで更新します。

reload

Cisco Nexus 1010 ペアで、ソフトウェア イメージは `bootflash` 変数で指定されたバージョンに置き換えられます。Cisco Nexus 1010 は同期されます。

未保存のコンフィギュレーションはすべて失われます。

例：

```
switch# reload
This command will reboot the system. (y/n)? [n] y
2009 Oct 30 21:51:34 s1 %$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-PFM_SYSTEM_RESET: Manual system restart
from Command Line Interface
switch#
```

ステップ 6 各モジュールの CLI から、両方の VSB が HA モードであることを確認します。

show system redundancy status

例：

```
switch# show system redundancy status
Redundancy role
-----
      administrative:  primary
      operational:    primary
Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:    None
This supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:   Active with HA standby
Other supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state:  standby
      Supervisor state:  HA standby
      Internal state:   HA standby
switch#
-----
```

ステップ 7 新しいソフトウェアがロードされたことを確認します。

show module

```
switch# show module
Mod  Ports  Module-Type                Model                Status
---  ---
1    0      Cisco Nexus1010 Chassis  Nexus1010           active *
2    0      Cisco Nexus1010 Chassis  Nexus1010           ha-standby

Mod  Sw                Hw
---  ---
1    4.2(1)SP1(3)     0.0
2    4.2(1)SP1(3)     0.0

Mod  MAC-Address(es)                Serial-Num
---  ---
1    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA
2    00-19-07-6c-5a-a8 to 00-19-07-6c-62-a8  NA

Mod  Server-IP          Server-UUID                Server-Name
---  ---
1    172.23.231.113    NA                          NA
2    172.23.231.113    NA                          NA
```

```
* this terminal session
switch#
```

ステップ 8 新しいアップグレード コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーすることによって、リブートや再起動が行われても実行コンフィギュレーションが永続的に保存されるようにします。

copy running-config startup-config

例：

```
n1000v# copy running-config startup-config
[#####] 100%
n1000v#
```

構成例

次に、ソフトウェア バージョン 4.2(1)SP1(2) からのアップグレードの例を示します。

```
cppa-mgr# install nexus1010 bootflash:repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.3.iso
cppa_mgr debug: Using URI: bootflash:/repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.3.iso
Installing bootflash:/repository/nexus-1010.4.2.1.SP1.3.iso
.....
Verifying image bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin for boot variable
"kickstart".
[[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin for boot variable "system".
[[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image type.
[[[[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "system" version from image bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin.
[[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "kickstart" version from image
bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS
.....
Notifying services about system upgrade. [#####]
100% -- SUCCESS
.
Compatibility check is done:
Module bootable Impact Install-type Reason
-----
1 yes non-disruptive reset
2 yes non-disruptive reset

Images will be upgraded according to following table:
Module Image Running-Version New-Version Upg-Required
-----
1 system 4.2(1) SP1(2) 4.2(1) SP1(3) yes
1 kickstart 4.2(1) SP1(2) 4.2(1) SP1(3) yes
2 system 4.2(1) SP1(2) 4.2(1) SP1(3) yes
2 kickstart 4.2(1) SP1(2) 4.2(1) SP1(3) yes
Module Running-Version ESX Version VSM Compatibility ESX Compatibility
-----
```

```

Install is in progress, please wait.

Syncing image bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin to standby.
[[#####] 100% -- SUCCESS

Syncing image bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin to standby.
[######] 100% -- SUCCESS

Setting boot variables.
[# [#####] 100% -- SUCCESS

Performing configuration copy.
[[#####] 100% -- SUCCESS
.....2011 Jul 25 20:12:16 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_REMOVE: Module 2
removed (Serial number T023D750981)
.....2011 Jul 25
20:14:54 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 2 detected (Serial number :unavailable)
Module-Type Virtual Supervisor Module Model :unavailable
.....
Module 2: Waiting for module online.
-- SUCCESS
.....
.....
Notifying services about the switchover.
[#####] 100% -- SUCCESS

"Switching over onto standby".
.
Broadcast message from root (console) (Mon Jul 25 20:20:41 2011):

The system is going down for reboot NOW!
INIT: Switching to runlevel: 6
INIT: Sending processes the TERM signal
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "sksd" (PID 2487) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "Security Daemon" (PID 2499) is
forced exit.
Jul 25 20:20:41 %TTYD-2-TTYD_ERROR TTYD Error ttyd bad select
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "stp" (PID 2765) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "fs-daemon"(PID2455)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "Cert_enroll Daemon"(PID 2500)is
forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "netstack"(PID2557)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "vdc_mgr"(PID 2484)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "u6rib" (PID 2507) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "res_mgr"(PID 2489)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "licmgr" (PID 2454)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "igmp" (PID 2771) is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "adjmgr" (PID 2537)is forced exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "Radius Daemon"(PID 2634)is forced
exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "AAA Daemon"(PID 2501)is forced
exit.
Jul 25 20:20:41 %LIBSYSMGR-3-SIGTERM_FORCE_EXIT Service "urib" (PID 2508) is forced exit.
Auto booting bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin bootflash:/n
exus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin...
Booting kickstart image: bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin.
.....Image verification
OK

Starting kernel...
PCI: PIIX3: Enabling Passiv%H+Y4%
001-Usage: init 0123456SsQqAaBbCcUu
mkdir: cannot create directory `/new-root/old-root': File exists

```

```

INIT: version 2.85 booting
Bootflash device is /dev/hda
Checking all filesystems..... done.
Setting kernel variables: sysctlnet.ipv4.ip_forward = 0
net.ipv4.ip_default_ttl = 64
net.ipv4.ip_no_pmtu_disc = 1
.
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 41: //iptables: No such file or directory
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 44: //ip6tables: No such file or directory
Loading system software
Uncompressing system image: bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin

Load plugins that defined in image conf: /isan/plugin_img/img.conf
load_plugin: failed read swid map from "/mnt/pss/plugin_swid_map" with rc 0xffffffff.
Plugin will be assigned new ID
Loading plugin 0: core_plugin...
load_plugin: Can't get exclude list from /isan/plugin/0/boot/etc/plugin_exclude.conf (rc
0x40ea0017)
plugin_link_to_exec_path: plugin_path = /isan/plugin/0, tar_log =
/isan/plugin_extract_log/0
num srgs 1
0: swid-core-suplsfp, swid-core-suplsfp
num srgs 1
0: swid-suplsfp-ks, swid-suplsfp-ks
INIT: Entering runlevel: 3
Starting dhcpd daemon: dhcpdInternet Systems Consortium DHCP Server V3.0.1rc14
Copyright 2004 Internet Systems Consortium.
All rights reserved.
For info, please visit http://www.isc.org/sw/dhcp/
Wrote 0 deleted host decls to leases file.
Wrote 0 new dynamic host decls to leases file.
Wrote 0 leases to leases file.

Not configured to listen on any interfaces!
.
Exporting directories for NFS kernel daemon...done.
Starting NFS kernel daemon:rpc.nfsd.
rpc.mountddone.

/bin/mkdir: cannot create directory `/bootflash/repository': File exists
/isan/bin/mount_cpp_a_repository exist

Nexus 1010
cppa-mgr(standby) login: 2011 Jul 26 04:24:22 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading
cmd files begin - clis
2011 Jul 26 04:24:29 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading cmd files end - clis
2011 Jul 26 04:24:29 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: init begin - clis
2011 Jul 26 04:24:38 cppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: Invalid feature name eth-port-sec - clis
Nexus 1010
cppa-mgr(standby) login: admin
Password:
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2011, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third
parties and used and distributed under license. Certain components of this software are
licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General
Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
cppa-mgr(standby)#

Inactive timeout reached, logging out.

```

```

Nexus 1010
coppa-mgr(standby) login:
(スタンバイ Cisco Nexus 1010 のアップグレードは、ここで開始します)。

Auto booting bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin
bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin...
Booting kickstart image: bootflash:/nexus-1010-kickstart-mz.4.2.1.SP1.3.bin.
.....Image verification
OK

Starting kernel...
PCI: PIIX3: Enabling Passive Veh+001-?Usage: init 0123456SsQqAaBbCcUu
mkdir: cannot create directory `/new-root/old-root': File exists
INIT: version 2.85 booting
Bootflash device is /dev/hda
Checking all filesystems...r.r.r done.

Setting kernel variables: sysctlnet.ipv4.ip_forward = 0
net.ipv4.ip_default_ttl = 64
net.ipv4.ip_no_pmtu_disc = 1
.
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 41: //iptables: No such file or directory
/etc/rc.d/rcS.d/S35iptables: line 44: //ip6tables: No such file or directory
Loading system software
Uncompressing system image: bootflash:/nexus-1010-mz.4.2.1.SP1.3.bin

Load plugins that defined in image conf: /isan/plugin_img/img.conf
load_plugin: failed read swid map from "/mnt/pss/plugin_swid_map" with rc 0xffffffff.
Plugin will be assigned new ID
Loading plugin 0: core_plugin...
load_plugin: Can't get exclude list from /isan/plugin/0/boot/etc/plugin_exclude.conf (rc
0x40ea0017)
plugin_link_to_exec_path: plugin_path = /isan/plugin/0, tar_log =
/isan/plugin_extract_log/0
num srgs 1
0: swid-core-suplsfp, swid-core-suplsfp
num srgs 1
0: swid-suplsfp-ks, swid-suplsfp-ks
INIT: Entering runlevel: 3
Starting dhcpd daemon: dhcpdInternet Systems Consortium DHCP Server V3.0.1rc14
Copyright 2004 Internet Systems Consortium.
All rights reserved.
For info, please visit http://www.isc.org/sw/dhcp/
Wrote 0 deleted host decls to leases file.
Wrote 0 new dynamic host decls to leases file.
Wrote 0 leases to leases file.

Not configured to listen on any interfaces!
.
Exporting directories for NFS kernel daemon...done.
Starting NFS kernel daemon:rpc.nfsd.
rpc.mountddone.

/bin/mkdir: cannot create directory `/bootflash/repository': File exists
/isan/bin/mount_coppa_repository exist

Continuing with installation, please wait
Trying to start the installer...
Trying to start the installer...
2012 May 26 09:30:15 coppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading cmd files end - clis
2012 May 26 09:30:15 coppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: init begin - clis
2012 May 26 09:30:32 coppa-mgr %USER-2-SYSTEM_MSG: Invalid feature name eth-port-sec - clis

```

```

Module 2: Waiting for module online.
-- SUCCESS
2011 Jul 25 20:20:41 cppa-mgr %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_PRE_START: This supervisor is
becoming active (pre-start phase).
2011 Jul 25 20:20:41 cppa-mgr %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_START: This supervisor is becoming
active.
2011 Jul 25 20:20:41 cppa-mgr %SYSMGR-2-SWITCHOVER_OVER: Switchover completed.
2011 Jul 25 20:20:58 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_REMOVE: Module 1 removed (Serial number )

2011 Jul 25 20:24:21 cppa-mgr %PLATFORM-2-MOD_DETECT: Module 1 detected (Serial number
:unavailable) Module-Type Virtual Supervisor Module Model :unavailable
Install has been successful.

Nexus 1010
cppa-mgr login: admin
Password:
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2011, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are owned by other third
parties and used and distributed under license. Certain components of this software are
licensed under the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU Lesser General
Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
cppa-mgr# copy running-config startup-config
[#####] 100%
cppa-mgr#
    
```

詳細な資料

関連項目	参照先
ハードウェアの設置	『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide』
Cisco Nexus 1010 ソフトウェアの設定	『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(3)』
Cisco Nexus 1010 コマンド	『Cisco Nexus 1010 Command Reference, Release 4.2(1)SP1(3)』
CIMC 管理	『CIMC Firmware Management on UCS C-Series Servers』

ソフトウェア インストールおよびアップグレード機能の履歴

ここでは、ソフトウェア インストールおよびアップグレードのリリース履歴について説明します。

機能名	リリース	機能情報
ソフトウェアの再インストールまたはアップグレード	4.2(1)SP1(2)	この機能が導入されました。

関連資料

この項では、Cisco Nexus 1000 とともに使用されるマニュアルの一覧を示します。これらのマニュアルは、Cisco.com の次に示す URL で入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps9902/tsd_products_support_series_home.html

一般情報

『Cisco Nexus 1000V Documentation Roadmap, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V Release Notes, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V Compatibility Information, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1010 Management Software Release Notes, Release 4.2(1)SP1(3)』

インストール & アップグレード

『Cisco Nexus 1000V Virtual Supervisor Module Software Installation Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V Software Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V VEM Software Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Hardware Installation Guide』

『Cisco Nexus 1010 Software Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SP1(3)』

コンフィギュレーション

『Cisco Nexus 1000V License Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V Getting Started Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V High Availability and Redundancy Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(4)』

『Cisco Nexus 1000V Interface Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V Layer 2 Switching Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(4)』

『Cisco Nexus 1000V Port Profile Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V Quality of Service Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(4)』

『Cisco Nexus 1000V Security Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V System Management Configuration Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1010 Software Configuration Guide, Release 4.2(1)SP1(3)』

プログラミング

『Cisco Nexus 1000V XML API User Guide, Release 4.2(1)SV1(4)』

リファレンス

『Cisco Nexus 1000V Command Reference, Release 4.2(1)SV1(4)』

『Cisco Nexus 1000V MIB Quick Reference』

『Cisco Nexus 1010 Command Reference, Release 4.2(1)SP1(3)』

トラブルシューティング & アラート

『Cisco Nexus 1000V Troubleshooting Guide, Release 4.2(1)SV1(4a)』

『Cisco Nexus 1000V Password Recovery Guide』

『Cisco NX-OS System Messages Reference』

Virtual Security Gateway マニュアル

『Cisco Virtual Security Gateway for Nexus 1000V Series Switch』

Virtual Network Management Center

『Virtual Network Management Center』

ネットワーク解析モジュール マニュアル

『Cisco Prime Network Analysis Module Software Documentation Guide, 5.1』

『Cisco Prime Network Analysis Module (NAM) for Nexus 1010 Installation and Configuration Guide, 5.1』

『Cisco Prime Network Analysis Module Command Reference Guide 5.1』

『Cisco Prime Network Analysis Module Software 5.1 Release Notes』

『Cisco Prime Network Analysis Module Software 5.1 User Guide』

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

このマニュアルは、「関連資料」の項に記載されているマニュアルと併せてご利用ください。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアル内の例、コマンド出力、および図で使用されている IP アドレスは、説明のみを目的としています。このマニュアルの中に実在のアドレスが使用されていたとしても、それは偶然の一致によるものです。

© 2010-2011 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved

Copyright © 2010–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

